

操縦技術身に付けて 三八五オートスクール 光星高にドローン寄贈

「ドローンビジネスカレッジ三八五青森校」(八戸市)を運営する三八五オートスクール(佐々木伸悦社長)は17日、生徒の教育活動に役立ててもらおうと、八戸学院光星高

(小野崎龍一校長)に小型無人機ドローン1台を寄贈した。

同校は本年度から単位制に移行しており、幅広い分野での教育を実践。ドローンは建築現場や物流などで活用の場

が広がっていることから、同校も既に機体を購入しており、今後、ドローンの操縦技術などを学ぶ授業をカリキュラムに取り入れる予定だ。

この日は、同校で贈呈式が行われ、佐々木社長が同校の生徒にドローンを手渡した。佐々木社長は取材に「(操縦などの)スキルを身に付けるため、生徒の皆さんに有効活用してほしい」を期待を寄せた。

式後、生徒が同校敷地内で実際にドローン进行操作。2年の佐藤健真さん(17)は「ドローンに興味はあったが、操縦してみたら難しかった。寄贈してもらったドローンを今後の活動で活用したい」と話した。(福田駿)



ドローンを操縦する生徒